

大宮神社の伐木伐採

報告者 池田輝明

作業日:令和2年1月14日、15日、2月11日、12日、18日、19日

延べ参加者:石塚、田上、野畑、平子、湯浅、森、坂口、池田

作業目的:神社裏の林の大木3本ほどが鉄道の方に延びているため伐採する。



作業前宮司さんのお祓い



同左



鉄道職員が電車運行の監視



対象木伐倒に障害となる樹を伐採



伐倒に障害となる枝にワイヤーを掛け



枝の根の根元に切込みを入れ



梯子から降りたのちワイヤーを引き、枝を折る



より高い場所にはやぐら(神社提供)を組み、その上に梯子を掛け枝に切り込みを入れ、下りた後にワイヤを引き枝を折る。なかなか折れずチルホール3台を使用。それを繰り返し、障害枝を除去するとともに樹高を低くした(約18m⇒約12m)。



幹の伐倒に取り掛かる(受け口後追い口へ) ワイヤ・チルホール2セットで引きつつ、楔を打ち、少しずつ切り進め、退避後チルホールで伐倒。



伐倒後、枝払い・玉切りへ

切断面は80c、根本直径は約1m



同様にして他の2本も伐倒

機材も撤収し作業完了!

難易度の高い作業であったが、皆さんの協力で無事完了することができた。